
「核兵器のない世界へ」 NPT再検討会議にむけて ニュース

〒852-8107 長崎市浜口町6-5 木下ビル Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp
電話・095・844・0705 FAX・095・844・0728 発行者 片山明吉



県原水協は3月9日、平和公園で6・9署名行動をおこないました。参加者は年金者組合3名、新婦人2名、事務局1名合計6名でした。今日は大型著名人顔ポスターの初公開。観光客の視線がポスターに集中し、多くの人が足を止め署名してくれました(署名数180筆)。また、長崎原水協は今日、昼休み長崎市役所玄関前バス停付近で大ポスターを掲示して署名行動を行いました。県労連、年金者組合、新婦人など8名が参加、40分の行動で60筆が寄せられました。大型ポスターの掲示には苦勞がありますが、宣伝効果は抜群で「百言は一見にしかず」。通りすがりの方々の多くが署名してくれました。

長崎原水協：署名推進委員会発足

長崎原水協は6日、署名推進委員会の発足集会を行いました。団体や地域から23名が参加しました。最初にピキニデー集会の報告が行われました。はじめて参加した方からは、「長崎大会では要員ばかり担当してきた。全国との活動交流が出来て感性の遅れを実感した。NPTにも参加したい」。若い母親の方は「広島・長崎・ピキニの三度の被爆。命と核兵器は共存できないこと。子供たちに青い空を青いまま届けたいと強く感じた」。青年からは「核や軍事費が不要になったら、他のことにどれだけの金がまわせるか」と。

署名推進方針については、自治会員2万人の10%、2000筆をやりたい。家に入出入りする業者などすべての人に署名をお願いした。今度は近所をまわりたい。月2回、10箇所ですべての者が揃えば目標達成はできる。今がチャンス、今だからこそやらねばならない署名だ。情勢を聞くと、核廃絶は手の届くところにきている。これを決定的なものにするのだと言う熱いものを感じているのだろうが、われわれがそこまでの気分になっているだろうか？など熱心な討議がなされました。今日の市役所前署名行動は、確認された方針の最初の実践行動でした。また、今日は途絶えていた新大工商店街でも署名が行われました。

県知事・県議会議長、県議会各会派に署名要請

県署名推進委員会は、県議会議員全員に署名をお願いするため、3月3～4日県議会各会派を直接訪問、会派代表者と面談し署名協力を要請しました。また、5日は県議会議長、副議長、6日には県知事に同様の要請をおこないました。各会派とも誠実な対応をいただきました。結果が期待されます。